2014 年 6 月 13 日

要請書　福島原発事故の収束なしに再稼働は許されない

今を生きる大人たちが、未来を選択する責任の時代に生きている自覚を持つべし

鹿児島県知事　　伊藤 祐一郎 様
鹿児島県議会議長 池畑 憲一　 様

玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会
代表　石丸初美
〒840-0844 佐賀県佐賀市伊勢町 2-14
連絡先:090-3949-2103 事務局長代行 永野浩二

私たちの会は、九州電力プルサーマルに使用されているＭＯＸ燃料が不良品ではないか？その燃料の挙動について十分に検討し安全立証ができていない、この声を無視する商業実験は止めなさい！と「みんなで止める」決意をして、２０１０年８月９日に提訴しました。そして、その裁判の二回目の審理中に、あの3．11福島第一原発での大事故が起きたのです。

それまで、国も九電も佐賀県も「原発は絶対安全、事故など絶対起こさない。仮に、万が一起きるようなことがあっても放射能が外へ飛び出すようなことはありえない」と言い続けてきたのです。しかし、その安全神話は完全に崩れました。2011年4月、事故発生から1か月経過しても、福島の事故は爆発から拡大の一途を辿っていました。とうとうプルトニウムまで土壌から検出され、田畑と海の汚染は止まるところを知らないということが、当時の新聞を読むと書かれています。終息の見通しなど全く立たず、破壊され白煙が立ち上り倒壊の恐れもある原発建屋の姿に将来への不安は強く大きく高まり、もう原発などとても社会的に認められることはないだろうと思われていました。

そして、3年が経った今も「原子力緊急事態宣言中」が変わることなく、汚染水は流れ続け、冷やし続けるだけで精一杯、原因が本当に解明され廃炉作業に入れるのは、いつの日のことか分かりません。ところが、今、この状態で九州電力は再稼働しようという気になっているのです。私たちは信じられません。このところの環境経済研究所の専門家によるシミュレーションや私たちの自治体向けの質問調査で、重大事故時の原子力防災避難計画には不備が多く机上の空論、何も具体的には準備できてないことが分かってきました。

そんな中、去る5月21日、福井地裁で大飯原発の再稼働は認められないとの判決が出ました。福島事故で「100％安全な原発はありません」と認め、「いざという時には逃げていただきます」と言う国や事業者に対し、司法が、何よりもまず住民の人格権を尊重し、事故のリスクは計り知れない程大きく生物と環境を破壊することから、万が一でも危険があるならば運転してはならないと裁いたのです。

この15年間に日本列島周辺では、マグニチュード 6.0 以上の大地震が全世界の 20%も発生しています。数多くの火山を有する地震国です。しかし、国や自治体や九電の事故避難計画に対する心構えを訊くと、万が一は、十万年か一万年に一度しか起こらないかのような想定を感じさせられます。スリーマイル、チェルノブイリ、フクシマの三大事故だけではなく、日本では東海村JCO臨界事故やもんじゅナトリウム漏れ事故に続き、2007 年の新潟県中越沖地震においては柏崎刈羽原発の火災事故と放射線漏れ事故で、7基すべてにあわやと思える局面がありました。これまでも偶々運がよかっただけなのです。

もう忘れてはなりません、原発は、福島のように一瞬にして国土を焦土と化し国民の未来のすべて奪ってしまうものです。

私たちは、避難さえできず要援護者など弱者を切り捨てしまうような現在の驕りの計画の中で、原発を二度と動かしてはならないと思っています。ここに、私たちは九州に在る川内原発・玄海原発の再稼働に強く反対し、永久に運転停止することを要請致します。

【賛同団体】34 団体

＜福島県＞
原発いらない福島の女たち

＜佐賀県＞
プルサーマルと佐賀県の100年を考える会　原発を考える鳥栖の会　九州の食材宅配便

＜福岡県＞
風ふくおかの会　郷原やまと言葉研究会　小倉筆禅道の会　無添加ハウス
(有)グリーンフィールド　水巻の有機野菜を育てる会　宗像の風　こころ整体　百姓庵
ワールドレポートに学ぶ中間の会　活元仲間の会　アースヒーリング　エヴァの会　心透会
さよなら玄海原発の会・久留米　原発八女ん会　みどりと環境プロジェクト
バンビの木箱　しあわせのたね　九州ひまわりプロジェクト　福岡で福島を考える会
日本科学者会議福岡支部　えとう真実とレインボープロジェクト　緑の党・九州連絡協議会
原発知っちょる会　志摩の風　博多湾会議

＜宮崎県＞
環境 NPO 法人 H－imagine　「太陽光・風力発電トラスト」

＜東京都＞
日本キリスト教協議会平和・核問題委員会、PKO法「雑則」を広める会

＜個人＞133人

玄海原発プルサーマルと全基をみんなで止める裁判の会
〒840-0844　佐賀市伊勢町 2-14
TEL：0952-37-9212 FAX：0952-37-9213
http://saga-genkai.jimdo.com/
http://www.facebook.com/genkai.genpatsu
E-mail：saiban.jimukyoku@gmail.com